



●お知らせ

ワークショップだけでなく、ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



●お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課事前復興まちづくり担当
TEL:088-823-9055 FAX :088-823-9085
Mail:kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.1

R7.9.19

三里地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ (仁井田地区)を 開催しました！

地域の方
24名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ
テーマ1は2ページ、テーマ2は3ページ、テーマ3は4ページです

●ワークショップの進め方・内容

第1回 R7.8.27開催

三里のいいところ残したいもの、
普段の生活で困っていること
復興パターン2案について
楽しくなるような未来のまちを想像する



第2回 令和7年10月下旬頃開催予定

速やかに復興するために必要なこと



第3回 令和8年2月上旬頃開催予定

災害が起きる前からできること



8月27日(水)、三里ふれあいセンターで、三里地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップ(仁井田地区)を開催しました。ワーク1では「三里地区の良いところ・残したいもの、困っていること」、ワーク2では「復興パターン2案」、ワーク3では「三里地区が住み続けたいくなるような楽しい未来の姿」について、みんなで話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは？

南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。
市で作ったたたき台を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

- ① 早期の復旧・復興事業の着手により、まちの復興を早める
- ② 適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③ 人口流出の抑制につながる

被災前に作成

高知市事前復興まちづくり計画
・復興基本方針
・地区別事前復興まちづくり計画
など

被災後に作成

高知市復興計画
・復興計画の区域
・復興に関する基本事項
など

被災状況に応じ速やかに策定



テーマ1 三里の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること

文化・歴史

良いところ・残したいもの

- ・仁井田神社の秋祭りがある
- ・坂本龍馬ゆかりの歴史文化財がある
- ・歴史が長い造船所がある
- ・お遍路文化を残したい



暮らし

良いところ・残したいもの

- ・県立大学・医療センターが高台にある
- ・平坦な土地にハウスが多くある(黒潮ライン北側)

困っていること

- ・スーパーなどの店が少ない



地域

良いところ・残したいもの

- ・人と人のつながりがある
- ・大学に通っている学生がいる

困っていること

- ・高齢者が多い
- ・子どもが少ない
- ・空き家が多い
- ・住宅が密集している



公共交通

困っていること

- ・バスの便が少ない



災害

良いところ・残したいもの

- ・避難タワーが近い
- ・井戸が多数ある

困っていること

- ・避難先である小・中学校の裏に土砂災害リスクがある
- ・土地の高さが低く、浸水深が深い場所がある



道路

良いところ・残したいもの

- ・交通の便が良い

困っていること

- ・狭い道が多く、ブロック塀が多い
- ・古い道路橋が心配



産業

良いところ・残したいもの

- ・クルーズ船が寄港する
- ・高知新港に高台がある
- ・県営渡船場がある
- ・造船業が盛んである
- ・園芸(グロリオサ)が盛んである



自然・緑など

良いところ・残したいもの

- ・景色が良い
(半島と海/浦戸湾/太平洋/
大平山からの景色)
- ・砂浜がある
- ・千松公園、公園内に松がある
- ・海水浴場がある



テーマ2

復興パターン2案について意見を共有しましょう

【第1案】嵩上げ案

●被害が大きいと想定される種崎地区を嵩上げすることで、現地で住み続けることができる案



- (A) 嵩上げ(区画整理事業)
- (B) 区画整理事業
- (C) 二線堤(県道35号)
- (D) 住工複合ゾーン
- (E) 災害公営住宅の整備
- (F) 土砂災害対策

(共通意見)

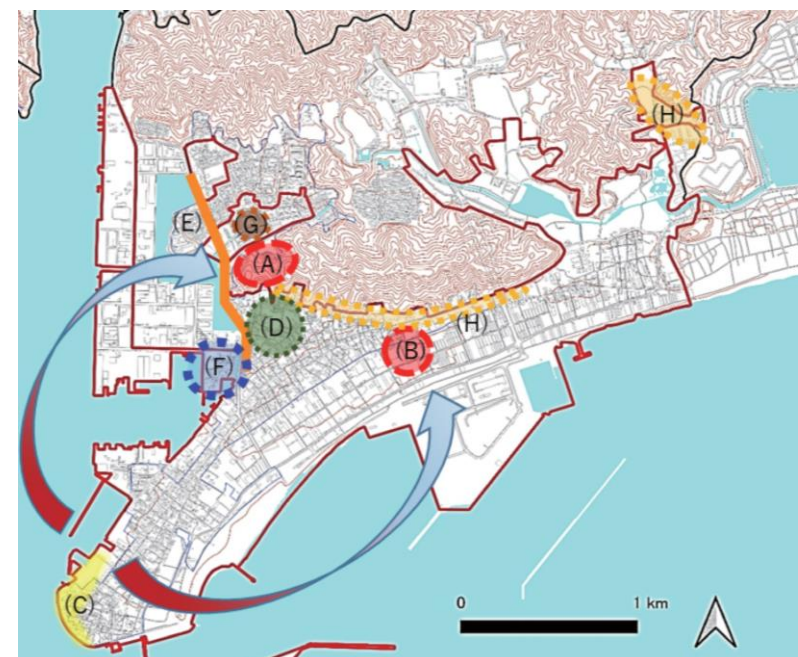
- ・高齢者に配慮した災害公営住宅にしてほしい

(嵩上げに対する意見)

- ・嵩上げに合わせて広い範囲で区画整理してほしい
- ・公営住宅を整備し、集約をはかってはどうか
- ・地域の人は住み慣れた土地で住み続けたいと思う
- ・被災後、海に隣接したところに住むのは怖いと思う

【第2案】移転対応案

●被害が大きいと想定される種崎地区を安全な場所へ移転することで、生命や財産の保護を優先に考えた案。



- (A) 高台移転
仁井田公園と市有地の山林
を活用した新市街地整備
- (B) 内陸移転
ふれあい広場と未利用の私有
地を活用した新市街地整備
- (C) 移転元地(建築制限)
- (D) 区画整理事業
- (E) 二線堤(県道35号)
- (F) 住工複合ゾーン
- (G) 災害公営住宅の整備
- (H) 土砂災害対策

(疑問点)

- ・嵩上げの高さが知りたい
- ・嵩上げは時間がかかるのではない
- ・事業所は負担が大きく再建が難しいのではない

(移転に対する意見)

- ・移転範囲を広げてほしい
- ・移転先に公営住宅をつくってはどうか
- ・移転先にはみんなが気軽に集まれる集会場などがあるとよい